

# 札幌市勤務医協議会ニュース

発行 札幌市勤務医協議会  
札幌市中央区大通西 19 丁目  
札幌市医師会館内

## 会長挨拶

時代とともに変わる職場環境と人間関係 —

「血の汗流せ」から「ワクワク大作戦」へ

会長 土田 哲人

梶原一騎という劇作家を覚えているだろうか？「あしたのジョー」「タイガーマスク」など数々の「スポ根」もの名作アニメを世に生み出した。少なくとも現在の 50-60 歳代は毎週感動に打ち震え涙してテレビを見、それらは翌日の学校の話題を独占していた。この梶原一騎の不朽の名作と言われる「巨人の星」の主題歌、「思い込んだら試練の道を、行くが男のど根性」「血の汗ながせ涙をふくな」のフレーズはいまも心に染み付いて離れない。子供の時には、能力・人格とも最高の人しか「巨人軍」に入団出来ないのだと信じ、それを目指し多くの野球少年が生まれた。しかし、大人になりこの歌を聞くと不穏当な言葉と現実との間に違和感があり、また「巨人軍」の中には体力があっても社会的に正しくない行動をする人もいることが分かった。

今において考えれば、「巨人の星」の主人公の星飛雄馬の父「星一徹」は、飲んだくれ卓袱台をひっくり返す「酒乱」で「家庭内暴力」者であり、「大リーグ養成ギブス」「火の玉特訓」は単なる幼児虐待にすぎず、いつも北斗星を指し「あれが巨人の星だ」というのは全く根拠のない理想主義であった。今の子どもたちが見て理解できないどころか PTA より不適切番組として吊るし上げられるだろう。

一方、話は変わるが最近のスポーツの話題として青山学園大学が箱根駅伝二連覇をしたことは記憶に新しい。この大学の原監督は上下関係と根性主義を一切排除し、「走ることは楽しむこと」の方針で「ワクワク大作戦」「ハッピー大作戦」と名づけ独自のプログラムで成功した。さらに選手たちは「友達・彼女が出来ました」「一流企業に就職」と最近の某スポーツジムのように結果にコミットする現実的な利益もあった。このことがさらに宣伝材料となり有能な選手が集まってきている。皮肉なことに、駅伝においても昔の

「血の汗」の根性路線は方法論として誤りであり、「一緒に楽しもうぜ」という軟派路線のほうが、結果的に運動生理学のみならず人材収集・育成においてより理にかなっていることになる。

しかし、果たしてこの原監督が川上時代に巨人軍の監督で「ワクワク大作戦」を行っていたら当時の強い巨人軍であっただろうか。人間の精神はその時代の環境と文化に強く支配されかつ変化していくものであるから、異文化の価値観をいきなり導入しようとしてもその時代の精神はそれを排除するように働くであろう。組織において新しい物事が受け入れられるか否かは、理屈として正しいか否かだけでなく、その時代の精神として受容可能かどうかという点が重要な規定因子となる。

逆に、星一徹が、現在の青山学園で「ワクワクしようぜ」と言ったら優勝できたであろうか？ジジイが若者とコミュニケーション取るために方便で媚びているだけとしか思われまいだろう。私の一回り上の団塊の世代の根性・精神主義をみて、「暑苦しくくどい」と感じる一方、上の世代は我々のことを理解不能な「新人類」と呼んでいた。さらに子供たちの世代をみて覇気がないと感じるが、彼らからすると「ゆとりですがなにか」ということになる。このように世代ごとにその育ってきた環境の違いにより物事の感受性・価値観に大きく隔たりがある。それをいきなり他世代に歩み寄ろうとするのは土台無理がある。またどの時代の民度が一番高かったかは誰も分からない。

社会ごとに職場組織において、高水準の量・質を達成維持するための環境づくりで一番大切なことは何であろうか？過去の因習・経験に囚われず現在の背景とニーズを適切に把握しその時代に合った方法を選択する能力が要求されるのではないかと考える。ことに医療の分野では、朝令暮改のごとく目まぐるしく変わる医療制度の変化に対応していくうちに、自分たちの立ち位置を見失いそうになる昨今である。今こそソレずに将来を見据えた選択をして行きたいものである。一方、人間関係をより円滑にするために職場環境で大切なことは何であろうか？どの世代にも共通に受け入れることが可能な最小限度のルールを構築し遵守してもらうこと、また根底に有る各世代の考え方をお互いに理解するよう（迎合するのではない）務めることが大切と思われる。さらに個人のみならず世代

ごとにその育ってきた環境によりストレスと感ずる質と量に大きな違いがあることを理解することが、メンタルヘルスケアにおいて留意すべき視点と思われる。自分ではまだまだ若いつもりで「ワクワク大作戦」を試みても、いつしか「星一徹」として取り扱われる希少種の集団に属するようになり、昨今常々感ずる雑感である。

(JR札幌病院)

## 記念講演会抄録

### 「今日からあなたはワイン通」

プレミアホテル TSUBAKI シェフソムリエ  
澁谷 昭

今晚は。今日は皆様にワインについて、ソムリエについて色々とお話し出来ます事、大変嬉しく光栄に存じます。

北海道に住んでもうすぐ45年、その前が仙台に7年、生まれた故郷が18年、足していただくと私の年令になります。早いものです。現在のソムリエとして仕事をさせていただいております事、大変幸せに感じております。「ソムリエ・生涯現役」が今の私の目標であり信念でございます。これから20年は今のままで仕事を楽しませていただきたいと思っております。

ソムリエとしての正装、タブリエ（前掛け）、昔はセラーでワイン樽を運んだり、瓶にワインを詰めたりの仕事、衣服が汚れない為の名残りです。

タートヴァン・ワインを啗酒するための器、お客様にワインをサーヴィスする前にそのワインが正常か否かを確認する為の器になります。昔のソムリエは背胸から下げて仕事をしていたものですが、今は、少なくなっております。と、ソムリエナイフ、ソムリエ認定バッヂをソムリエ三種の神器といっております。

1946年秋田県由利本荘市生まれ、高校を卒業して仙台へ、大学の友人とスナック（軽食喫茶）に入り、洋食はカレーライスとトンカツ位しか知らなかったもので、赤いうどんを食べてビックリした。スパゲッティナポリタンというもので、美味しかった。食に対してあまりにも無知な自分に恥ずかしいと思いつつ食文化に魅せられ、学生時代は、飲食店でボーイさん、バーテンさん、調理師さんのまねごとの4年間だった。

その後北海道へ、函館国際ホテルにお世話になり、レストランにあるワインの種類の高さに驚きながら、ソムリエという職業を再認識する。それは、神秘的な職業で、私には手に届かないものと思いつつ、ワイン

の勉強をし、サービスをし、ひたすらワインを飲んでいたものである。

1981年、当時のソムリエとして世界的な権威であり、フランスソムリエ協会の会長でもある、ジルベール・ルトール氏がソムリエ、ワインのイロハをご講義下さる旨、職場の上司にお願いし札幌に出張させていただいた。

午前中はワインの知識、午後からワインのサービスと料理とのマリアージュ、雉のロースト料理にマリアージュさせるワインは何か？そして薦められたワインは、「野原の香り、雨上りの木立ちのする香りのワイン、繊細で力強く・・・シャトー・オブリオン、1961年」であった。

ワインと料理のマリアージュはとても不思議なものであったが、この瞬間にかすかに理解出来たように思えた。一皿の料理がワインになったら何のワインなのか、逆にそのワインが料理になったら何の料理なのか、ワインの色、香、味を分析する感性が肝要とみる。

そしてワインを知るという事はどういうことなのか、私なりに一枚の紙に纏めた「虎の巻」が、今日皆様に提案させていただいた資料でございます。

知識、①そのお酒がどんなお酒の種類なのかを知る事が最初、醸造酒、蒸留酒、混成酒。②ワインをつくるぶどうの品種をとりあえず、白5種、赤5種位を頭に入れる。③世界でいろいろなワインがつけられているが、知る為の基本はフランスにあり、フランスワインを理解すると世界のワインがみえてきます。

技術、ワインをサービスする方法、特にスパークリングワイン、又、古酒をデキャンタージュする仕方。

感性、ワインの色、香、味を読んでいく感覚を養う。色、白ワイン、赤ワインの熟成による色の変化、香、ワインの香り、第1アロマ、第2アロマ、第3アロマ、味、甘酸塩苦旨辛渋、次に余韻とバランスを確認しつつ料理との相性を考える。

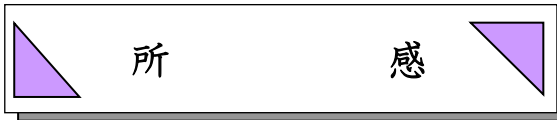
そして、上達していく為の方法として、楽しむワインの1杯目は、いつも、色、香、味を考えてみる。又、その感想をノートに記しておくとなお良いでしょう。

又それを自分なりに採点してみるのも楽しいものである。点数は20点を満点として、ワイン、色2香6味8余韻とバランス4。泡のあるワインは、色2泡立ち3香5味7余韻とバランス3。

これを継続することで、もうあなたはワイン通でございます。

ご静聴ありがとうございました。謝辞。

平成28年5月23日



## 最期だから自宅ですごしたい

幹事 吉田 祐一

先日、90歳代の末期腎不全で、12年間の闘病生活を行ってきた患者さんが、左下肢の血流不全を起こし入院しました。すでに前年に右下肢は大腿で切断しており、整形外科にコンサルトしたところ、心機能の低下もあり手術は勧められないとのことでした。患者さん自身も心不全による低血圧状態で、ベッド上での安静が続いていましたが、意識はしっかりしており、これ以上の積極的な延命治療は望まれず、自宅に帰りたいという強い希望がありました。家族もその実現を望んでおり、在宅医療の調整を行うこととなりました。予後が短いことが予想されるために、急いで計画を立案することとなりました。訪問診療医が日常管理を、腎不全管理は今までの主治医が往診で対応すること。病院看護師から訪問看護師に患者ケア、家族援助の情報を引継ぎ、自宅でも病院と同じような援助が行われるように配慮しました。さらに一日の役割分担が家族、ヘルパーのかかわりなど、カンファレンスによって調整が行われ、自宅へ退院されました。

退院された日には少量ですが、食事をご家族と一緒にされ、笑顔で過ごされました。

その後2日間静かに眠り続け、ご希望の自宅にて永眠されました。ご家族は、この数日間一緒に過ごされたことを、患者さんご本人が望む自宅での最期が実現できたことを大変喜ばれていました。

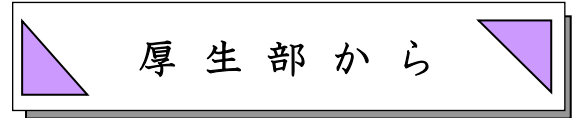
現在、80%以上の方が、病院で人生の最期を迎えます。一方で、自宅で最期を迎えたいという希望を持つ人も80%近くいるとの報告がされています。そのギャップの原因には、家族が支えきれない、家族に迷惑をかけられないなどの思いがあることは間違いありません。入院していて、終末期を迎える時、それは、改善する見通しがなく、食事が食べられなくなり点滴だけの生活になる状態などです。もしこれ以上の積極的な治療をのぞまれないのならば、在宅の方法もあることを説明させていただいています。見通しが無い永遠の介護ではなく、数日から、2週間以内の家庭生活ならば、家族だけではなく、医療や介護の援助で実現する方法が選べるかもしれないからです。実際、この考えに賛同される家族の方もおり、少しではありますが自宅での最期を迎えられる方が増えてきました。

厚労省は、費用の点からも在宅医療を進め在宅医療を行う医療機関が増えてきています。長期療養を目的

として、診療が行われていることが多いかと思えます。

今後、自宅での最期を迎える人はさらに増えると思います。入院中でも、自宅で最期を迎える希望があれば、その願いを叶えるための役割もまた、在宅医療の役割の一つになると思っています。

(東苗穂病院)



## 厚生部から

### 第21回 勤務医協議会・病院協議会 合同ゴルフ大会開催結果について

副会長 高橋 州平  
(厚生部管掌)

平成28年6月5日(日曜日)に毎年恒例の表記ゴルフ大会が札幌北広島ゴルフ倶楽部東コースにて開催されました。今回の出場者は9名で3組での大会となりました。午前8時52分の競技開始の際には曇り空で気温が低くとても肌寒い状態でした。お昼近くには天候が回復し、徐々に晴れ間が多くなり快適なコンディションでプレーができました。昨年同様に東コースインからのスタートとなり、行き成り池越えの10番と11番ホールを迎えました。特に11番ショートホールでは何名ものプレイヤーが池の罠にはまり苦労されておりました。

栄えある優勝は東札幌病院の染谷哲史先生で、グロス89(イン41、アウト48)のネット73.4で、堂々のベスグロ優勝を果たしました。更にドラコンは7番と15番ホールの2つ、ニアピンも1つ獲得しました。ドラコンホールでは打球目標となっているゼブラボールを超える長打で、他のプレイヤーを圧倒しておりました。準優勝は手稲溪仁会病院の田中繁道先生で、グロス93のネット78.6でした。また、ニアピンホールでは前の組のニアピンのフラッグ内側につけてニアピンを2つとりました。1位は今シーズン初プレーの小生でグロス109にも拘らずハンデ30を頂きネット79でした。前半のインより後半のアウトのスコアが良かったのが小生1名で水平賞を頂きました。2位は札幌南一条病院の工藤靖夫先生で、ニアピンを1つ取りグロス101でしたがハンデに恵まれずネット79.4でした。小波賞の対象者がおりませんでした。後半より前半のスコアが良かった逆小波賞を取りました。更にドラタンも1つ獲得しておりました。昨年の優勝者である愛全病院の島崎孝志先生はグロス93のネット79.8で3位でした。4位は札幌商工診療所の斎藤学先生で、ショットはかなり絶好調でグロス92と2位でしたがハンデに恵まれずネット80.0の結

果となってしまいました。5位は元愛全病院の小森吉夫先生で、グロス117のネット81.0でドラタンを1つ取りました。6位は札幌北榆病院の目黒順一先生で、グロス108のネット82.8でブービー賞となりました。7位は幌東病院の瀧川義昭先生で、グロス119のネット84.2でした

大会競技終了後には札幌北広島クラッセホテルにて親睦会ならびに表彰式を行いました。親睦会の中での話題で、現在休診中の小森吉夫先生の年齢は80歳位かと皆様思っておりましたが、ご本人にお聞きしたところ88歳とのことでした。あのアップダウンのきついコースをラウンドしている姿を思い出して感動致しました。出場した皆様でプレーの内容について楽しく語り合い、会員の皆様相互の交流を深め有意義な時間を過ごすことができました。今回は出場者が例年より少なかったのですがとても充実した大会となりました。来年は更に多くの会員の皆様に出場して頂き、更に会員間の親睦を深めていきたいと思っております。毎回とても楽しい大会ですので、多くの会員の皆様のご参加をお待ちしております。(中村記念病院)

順位	氏名	OUT	IN	GROSS	HDCP	NET
優勝	染谷 哲史	48	41	89	15.6	73.4
準優勝	田中 繁道	48	45	93	14.4	78.6
1位	高橋 州平	54	55	109	30.0	79.0
2位	工藤 靖夫	51	50	101	21.6	79.4
3位	島崎 孝志	49	44	93	13.2	79.8
4位	斎藤 学	49	43	92	12.0	80.0
5位	小森 吉夫	61	56	117	36.0	81.0
6位	目黒 順一	58	50	108	25.2	82.8
7位	瀧川 義昭	61	58	119	34.8	84.2

平成27年度札幌市勤務医協議会事業報告

月日	事業内容
4.21	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第1回役員会</li> <li>第1号 第27回札幌市勤務医協議会定時総会関連事項</li> <li>第2号 今後の事業活動について               <ul style="list-style-type: none"> <li>①平成27年度札幌市勤務医協議会産業医研修会開催について</li> <li>②平成27年度全国医師会勤務医部会連絡協議会について</li> <li>③第20回札幌市勤務医協議会ゴルフ大会(札幌市病院協議会と合同開催)</li> <li>④勤務医委員会・札幌市勤務医協議会・札幌市病院協議会との懇談会</li> </ul> </li> <li>第3号 その他</li> </ul>
5.26	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第27回定時総会               <ul style="list-style-type: none"> <li>1. 開 会</li> <li>2. 会長挨拶</li> <li>3. 札幌市医師会会長挨拶(代理：向井副会長)</li> <li>4. 報告事項                   <ul style="list-style-type: none"> <li>第1号 平成26年度事業報告</li> <li>第2号 平成26年度会計収支決算</li> <li>第3号 平成26年度監事報告</li> <li>第4号 その他</li> </ul> </li> <li>5. 協議事項                   <ul style="list-style-type: none"> <li>第1号 平成27年度事業計画案</li> <li>第2号 平成27年度会計収支予算案</li> <li>第3号 役員改選に関する件</li> <li>第4号 顧問・参与の委嘱に関する件</li> <li>第5号 その他</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>記念講演会               <ul style="list-style-type: none"> <li>テーマ：『知って得する野菜と果物のここだけの話』</li> <li>講 師：LITTLE JUICE BAR 野菜ソムリエ 萬年 暁子 先生</li> <li>参加者：90名</li> </ul> </li> </ul>



月日	事業内容
6.7	・第20回ゴルフ大会(病院協議会合同) 場 所: 札幌北広島ゴルフ倶楽部 (東コース) 参加者: 10名 優勝: 島崎 孝志 先生 準優勝: 司馬 英三 先生
8.20	・『勤務医協議会ニュース No.36』発行
10.24	・平成27年度全国医師会勤務医部会連絡協議会(秋田県) 会 場: 秋田キャッスルホテル 参加者: 土田勤務医協議会会長、櫻井病院協議会副会長、清水札幌理事 メインテーマ
11.2	『日本の国情から見た理想的な勤務医とその将来像-地域医療充実へのロードマップ-』
11.5	・『勤務医協議会ニュース No.37』発行  ・産業医研修会 場 所: 札幌市医師会館5階「大ホール」 テーマ: 「ストレスチェックについて」 講 師: 北海道労働局 札幌中央労働基準監督署 安全衛生課 課 長 鈴木 力 先生 地方産業安全専門官 田口 恭平 先生 参加者: 300名
12.3	・勤務医委員会・病院協議会との合同懇談会 場 所: 札幌市医師会館
12.5	・囲碁大会(病院協・西・手稲区支部合同) 場 所: 札幌市医師会館 参加者: 7名
2.6	・第36回札幌市病院学会 場 所: 札幌市医師会館
2.10	・札幌市病院協議会との合同講演会 場 所: 札幌市医師会館 テーマ: 『ひとりでは生きられない』 講 師: 作家 小檜山 博 先生 参加者: 60名
2.16	・第3回役員会 第1号 全国医師会勤務医部会連絡協議会参加報告 第2号 勤務医協議会産業医研修会結果 第3号 勤務医委員会・病院協議会・勤務医協議会合同懇談会 第4号 病院協議会・勤務医協議会合同講演会結果 第5号 札幌市病院学会結果 第6号 勤務医協議会定時総会関連事項 第7号 今後の事業活動の予定について 第8号 その他
3.28	・『勤務医協議会ニュース No.38』発行

平成27年度札幌市勤務医協議会収支決算報告

【収入】

項目	予算額	収入額	増減比	摘要
会 費	690,000	550,240	-139,760	会費(186名)
札幌医交付金	400,000	400,000	0	札幌医交付金
雑収入	1,000	99,324	98,324	研修会会費等
繰越金	1,716,274	1,716,274	0	前年度繰越金
計	2,807,274	2,765,838	-41,436	

【支出】

項目	予算額	支出額	増減比	摘要
会議費	500,000	386,000	-114,000	総会費外
事業費	800,000	323,617	-476,383	講師謝金外
通信費	400,000	205,027	-194,973	ニュース発送外
慶弔費	100,000	0	-100,000	香典外
事務費	100,000	70,324	-29,676	事務委託費外
予備費	907,274	0	-907,274	
計	2,807,274	984,968	-1,822,306	

(収入額) - (支出額) = (次期繰越額)

2,765,838円 - 984,968円 = 1,780,870円

平成28年度札幌市勤務医協議会収支予算

【収入】

項目	予算額	(前年度)	増減比	摘要
会 費	690,000	690,000	0	会費(230名)
札幌医交付金	400,000	400,000	0	札幌医交付金
雑収入	1,000	1,000	0	預金利息外
繰越金	1,780,870	1,716,274	64,596	前年度繰越金
計	2,871,870	2,807,274	64,596	

【支出】

項目	予算額	(前年度)	増減比	摘要
会議費	500,000	500,000	0	総会費外
事業費	800,000	800,000	0	講師謝金外
通信費	400,000	400,000	0	ニュース発送外
慶弔費	100,000	100,000	0	弔慰見舞外
事務費	100,000	100,000	0	事務委託費外
予備費	971,870	907,274	64,596	
計	2,871,870	2,807,274	64,596	

## 平成 28 年度 事業計画

No.	事業項目	予定回数	担当部	備考
1	総 会	1	総 務 部	
2	総会時記念講演会	1	総 務 部	総会と同日開催
3	役 員 会	6回以内	総 務 部	
4	部 長 会	適宜	総 務 部	
5	学術講演会	1	事 業 部	2月病院協議会と合同
6	産業医研修会	1	事 業 部	11月頃開催
7	勤務医委員会・病院協議会との懇談会	1	総 務 部 事 業 部	全国勤務医部会開催後予定
8	病院学会共催	1	事 業 部	2月開催予定
9	札幌市勤務医協議会ニュース発刊	適宜	総 務 部	随時発刊予定
10	札医通信執筆	各部1回	総 務 部 会 計 部 事 業 部 厚 生 部	勤務医協議会活動について (ゴルフ大会報告等)
11	全国医師会勤務医部会連絡協議会	1		大阪府において開催
12	ゴルフコンペ・囲碁大会	各1	厚 生 部	6月開催・12月開催
13		—	事 業 部	調査・研究など